

I めざす学校像

建学の精神

「奉仕のこころ」

- 1 「For Others～奉仕のこころ～、志高く。」(建学の精神の再確認)
- 2 「10年後の私たちのために」 将来の予測不能な社会を生き抜くことのできる人材づくり

教育目標、めざす生徒像

- 1 思いやりや感謝の気持ちや「奉仕のこころ」などを素直に表すことのできる高い人間性の育成
- 2 基礎学力を十分に積みあげた上で、自分の頭で課題や問題に向き合うことのできる思考力・判断力の育成
- 3 部活動や学校行事などに努力し共に励まし喜びを分かちあえる豊かな心と健やかな体の育成
- 4 個々の生徒の個性や能力や特性に合わせ、生徒の力を最大限に伸ばし、生徒・保護者に「行きたい・通わせたい」と思われる学校づくりをめざす。

II 中期的目標

- 1 基礎学力の充実から自ら考える力へ 「授業第一主義」
 - (1) 基礎学力の充実と「主体的・対話的で深い学びへ」
 - ア 授業学力の充実として宿題・課題とその定着確認を日々行う。また、自習室の設置や放課後、長期休業中の学習促進を図る。
※学校教育自己診断で「授業が分かりやすく学習習慣がしっかりと身につく授業が行われているか」を令和3年度は昨年度比5ポイント上げる。
 - イ 「主体的・対話的で深い学び」のためにICT教育やアクティブラーニングを推進する。
 - ウ ICT教育では、「G Suite For Education」や「Classi」などを使用し、情報活用能力やICTリテラシーを育成する。
 - エ ITフロンティアコースは4分野（プログラミング、制御「ロボット・ドローン」、メディア、eスポーツ）を柱として育成する。
 - オ 各コースの目標を設定し、積極的に資格、検定を取得させる。また、進学・特進コースは模試による学力チェックや英語力の向上を図る。
 - 2 個々の生徒に輝く居場所を作り、活力ある充実した学校生活を過ごさせる。
 - (1) 新コースを立上げ、時代に即した人材育成に努める。全てのコースで生徒の基礎学力を伸ばし、応用的な学力向上のための取組みを積極的に進める。
 - (2) 「For Others～奉仕のこころ～、志高く」の精神を実現し、人材育成の重点を、「教養」「英語（国際）」「ICT」とする。「教養」では、国語力、論理力、スポーツ、芸術、倫理観などの育成を図る。
 - (3) ICT教育環境整備など、活力ある学校生活が送られる施設整備を進める。
 - 3 知・徳・体のバランスの取れた教育と豊かな人間性の醸成 「生徒指導なくして学習指導なし」
 - (1) 授業に集中できる学習環境、授業規律や生活習慣の改善
 - ア 時間の厳守、挨拶、身だしなみを整えさせる。予鈴の実施で「ベル始業」を徹底させる。
※学校教育自己診断で「日頃から日常生活のマナーや社会人のルールを守るように取り組んでいる。」を令和3年度は昨年度比5ポイント上げる。
 - (2) 人権意識の醸成
 - ア 人権研修（生徒向け、教職員向け）の実施（差別事象、ハラスメント、SNS、いじめ等多様な人権教育の指導）
 - 4 学び連携できる教員集団
 - (1) 授業力向上の取組み
 - ア 相互授業見学や研究授業・研究討議で授業力向上に努める。また、積極的に外部研修や外部視察を行い、授業力向上の方法や学校運営方法などを学ぶ。
 - イ 若手教員研修の定期的実施
 - (2) 各種研修の実施
 - ア ICT教育や新学習指導要領などの研修や人権関係や服務などの研修を実施する。
 - (3) その他
 - ア 「チーム昇陽」の構築…組織運営の意識を持つ。小会議やミーティングやケース会議の実施。
 - イ コンプライアンス（法令遵守）を徹底させる
 - ウ ICT環境を整え、ホームページを充実させる。（記録、更新の促進）

III 本年度の取組み内容及び自己評価

| | 今年度の重点目標 | 具体的な取組み計画・内容 | 評価指標 | 自己評価 |
|-----------------------|--|--|--|------|
| 1 基礎学力の充実から自ら考える力へ | <p>ア 基礎学力の充実</p> <p>イ「主体的・対話的で深い学び」の実践</p> <p>ウ ICT教育の展開</p> <p>エ ICTフロンティアコースの4分野の展開</p> <p>オ 各コースの目標設定・取組み</p> | <ul style="list-style-type: none"> 宿題・課題とその定着確認 自習室の設置 放課後、長期休業中の講習の充実 春期講習の実施 朝のHRに朝読と朝テスト ベルリッツ導入による2技能強化 ICT教育やアクティブラーニングの研究授業実施 中学校1年、高等学校1年全員に、1人1台のクロームブックを使用させ、新たなICT教育の取組みを行う。 プログラミング、制御「ロボット・ドローン」、メディア、eスポーツの取組み ベルリッツ導入による2技能強化 英検、GTECの充実 英検、数検、漢検の受検促進 特進、進学コースの進路実現 進路決定率を高める 就職・公務員希望者の進路実現 模試による学力評価 パティシエコースに製菓衛生師資格取得へ 福祉コースの進路実現 中学校において英検・漢検・数検を更に受験させ、実績を上げる。 放課後、昇陽塾を開き、個々の生徒の学力に応じた指導をおこなう。 各コースのカリキュラム変更準備 | <ul style="list-style-type: none"> 学校教育自己診断での生徒の「授業関係」肯定的評価5%上げる。 講習の開講日数および参加者増加 朝テストの実施率 ICT教育関係施設整備状況及び研究授業実施状況 ICT機器の導入 「G Suite For Education」導入などによる共同的学びやマルチメディア教材の活用 週1回放課後の活動状況 検定受験者数増加 難関私立大学合格者数 就職希望内定率を100% 公務員試験合格率 介護福祉士国家試験合格率70%以上 中学校英検等、昨年度以上 学校教育自己診断での「進路指導」関係評価5%上げる。 | |
| 2 輝く居場所を作る | <p>(1) 新コースの立上げと人材育成など</p> <p>(2) 「For Others」などの人材育成</p> <p>(3) 施設整備の充実</p> | <ul style="list-style-type: none"> 進学コースとビジネス・ITフロンティアコースでの取組み 全てのコースの学力育成と特色ある取組み 各コースで「For Others～奉仕のこころ」の取組みを行う。 ICTを使った遠隔地教育を試みる。 城山キャンパスの施設・整備充実 | <ul style="list-style-type: none"> 進学IIIコースの講習等の参加率 各コースの学力目標設定 各コース目標達成内容 「For Others」各コース年1回以上の取組み 海外修学旅行や海外研修の取組み模索 キャリアパスポートの作成 「G Suite For Education」の導入 | |

| | | | | |
|---------------------------------|--|--|---|--|
| <p>3 知・徳・体の教育と豊かな人間性の醸成</p> | <p>ア 授業に集中できる学習環境と授業規律</p> <p>イ 人権意識の醸成</p> <p>ウ 学校行事や地域ボランティア、部活動指導の活性化</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒による挨拶運動の実施 ・<u>正門での「正門一礼」の実施</u> ・予鈴や入室指導の継続 ・「5分前集合」を徹底させる ・<u>「昇陽手帳」の使用（1・2年生）</u> ・遅刻指導の実施 ・通学指導の実施 ・生徒、教職員向け人権研修の実施（SNS、ハラスメント等の研修） ・強化クラブの充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・週1回生徒会、部員による挨拶運動実施 ・教員による入室指導後ベル始業の徹底 ・学校教育自己診断「生徒指導関係」肯定的評価5%上げる ・「5分前集合」「授業集中状況」 ・<u>遅刻件数を昨年度比15%減少</u> ・強化クラブの全国レベル大会出場 | |
| <p>4 学び連携できる教員集団</p> | <p>ア 授業力向上の取組み</p> <p>イ 各種研修会の実施</p> <p>ウ その他</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・授業公開週間の設定 ・先進校訪問の継続 ・授業アンケートの実施 ・各教科・科目のシラバスの充実 ・各コース検討研修会を開く ・若手研修会「雑士」と「チューター制」 ・夏季休業中の外部研修受講 ・各種委員会（将来構想委員会、ICT検討委員会、入試問題検討委員会、<u>デジタル委員会</u>）を構成し、諸課題に対応する ・生徒の情報共有を進める ・ICT環境の整備 ・学校ウェブサイトの<u>刷新</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・相互授業見学、研究協議の実施 ・教職員「<u>昇陽スタンダード</u>」の作成 ・観点別評価にもとづくシラバスの作成内容 ・<u>先進校訪問</u>、外部研修5名以上参加 ・ 学校ホームページの<u>刷新</u>と更新状況 | |